

衆議院外務委員会ニュース

平成 22.5.19 第 174 回国会第 15 号

5 月 19 日（水）、第 15 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・岡田外務大臣、武正外務副大臣、中川文部科学副大臣、佐々木農林水産大臣政務官、長島防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

平 沢 勝 栄君（自民）

- ・日中外相会談(2010.5.15)において、岡田外務大臣が中国に対して核兵器を削減、少なくとも増加させないよう要求した際、中国側はどのような反応であったか。
- ・日韓外相会談(2010.5.16)において、竹島問題についてどのような話し合いがなされたか。
- ・普天間飛行場移設問題の5月末までの決着とは、与党3党・米国・地元等関係方面が納得する形でまとめるという意味でよいのか。

小野寺 五 典君（自民）

- ・宮崎県における口蹄疫の発生にもかかわらず、赤松農林水産大臣が経済連携協定(EPA)等のためにメキシコ、キューバ及びコロンビアに出張(2010.5.1~5)する緊急性と必要性はあったのか。
- ・普天間飛行場移設問題に関して、軍用空港を「くい打ち棧橋(QIP)」方式で建設した事例は、我が国及び諸外国にあるのか。
- ・5月21日のクリントン米國務長官来日の際に、普天間飛行場移設に関する我が国の政府案を提示する予定はあるのか。

赤 松 正 雄君（公明）

- ・2010年核拡散防止条約(NPT)運用検討会議における我が国が目指す具体的な目標は何か。
- ・韓国海軍哨戒艦沈没の原因が、北朝鮮による魚雷攻撃であるとの調査結果が確定した場合、我が国はどのような立場をとるのか。
- ・日中外相会談(2010.5.15)において、中国の核問題及び東シナ海資源開発問題等、主に報道されている問題以外で、中国側から提起された事項はあるのか。

中津川 博 郷君（民主）

- ・子どもが早い時期に北方領土に関する正確な知識を習得できるよう、国が教育現場に対して効果的な指導を行うべきではないか。
- ・本年2月にロシアが発表した新軍事ドクトリンでは、他国からの領土要求を脅威としているが、北方領土問題はどのように扱われると外務省は認識しているか。
- ・我が国の教科用図書の中には、台湾を中国領として扱っているものがあるが、文部科学省は今後訂正を求めている必要があるか。

服 部 良 一君（社民）

- ・目黒区の祐天寺で、韓国籍の旧軍人・軍属の遺骨の返還式典(2010.5.18)が行われたが、北朝鮮籍の遺骨についても外務省として早期の返還に取り組むべきではないか。
- ・普天間飛行場移設問題に関して、「くい打ち棧橋」方式が過去の日米協議で断念された理由は何か。
- ・普天間飛行場代替施設の受入れに積極的な北マリアナ連邦及びグアム州両知事側の官邸への面会要求に対し、外務省で対応する予定だったと聞かすが、官邸が対応すべきだったのではないか。

笠 井 亮君（共産）

- ・2010年NPT運用検討会議は会期の折返し時期にあるが、現時点における我が国政府の同会議に対する評価と今後の見通しについてどのような所見を持っているか。
- ・同運用検討会議の第1委員会が作成した報告草案には、核廃絶に向けた26の行動計画が明記されているが、政府としても積極的な支持を表明すべきではないか。
- ・核軍縮分野では包括的核実験禁止条約(CTBT)等の取極が結ばれてきたが、なぜ核廃絶が実現しなかったのか。

2 社会保障に関する日本国政府とアイルランド政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 10 号）
（参議院送付）

航空業務に関する日本国と中華人民共和国マカオ特別行政区との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 11 号）（参議院送付）

・岡田外務大臣から提案理由の説明を聴取しました。